

## 福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：福井理文

「死ぬほど天井が食べたい…!!!」そんな気持ちから始まった4月。前半はいくつかアジアセンターや日本大使館主催のお花見イベントに参加したりと割と充実していました。しかし、月末に食あたりのような症状になってしまい元々溜まっていたご飯への不満や色々な不満があふれ出て、カルチャーショック期に入ってしまった。しかも、イースターブレイクにブルガリアとギリシャの旅行を立てていたのも、お腹が治っていない状態で観光しました。もちろん満足に観光できませんでしたが。とにかく今は日本食が食べたくて仕方ない気持ちを抑えて、今回の報告書を写真とともにまとめます。

### ● お花見イベント

大学から歩いて20分くらいの場所にある、日本庭園という場所で開かれる文字通りお花見のイベント。日本大使館やアジアセンター、他の大学や日本に関する団体が色々な出し物をしていました。日本人留学生は、大使館のイベントの折り紙教室に駆け出されました。ずっと腰をかがめていたので折れるかと思いましたが、予想以上に子供たちに折り紙が人気でびっくりしました。



- その翌日にはルーマニア・アメリカ大学のオープンキャンパスのようなもので、現地の高校生に書道体験をするというので手伝いました。半紙は貴重だそうで書いている紙は普通のA4用紙。結構適当。



- 試験期間

ルーマニア・アメリカ大学の学期のシステムは福井大学と全然違います。国際地域学部のシステムで言うと、クォーターごとに授業が組まれている感じ。福井大学と違うのは、クォーターで授業がすっかり変わる点。成績は10点満点で、クォーター終了時点の成績が8~10ならその授業は履修完了とみなされる。そこに足りてなかったら、セメスターの最後に最終試験がある。他の大学ごとにもそれぞれのシステムがあるらしいので慣れるのが最初は大変かも。

- 本当にあった怖い話

授業の予定が、使える教室が無いという理由で授業が突然キャンセルになった。すると誰かがどっかで酒飲もう！と言い出して、その授業を取ってる生徒と先生で外に飲みに行くということが起こった。こんなの日本じゃ絶対考えられんし、他の国の留学生もこの大学やべえ、って言った。



- 滞在許可証取得にあたり

現地の Immigration Office のサイトから申し込みをする。国際課の方の対応が素晴らし

くて、サイトの URL やオフィスの地図も全部送ってくださる。あとは手順通りに申し込みをして、メールで指定された日時にオフィスに向かうだけ。最悪申し込みも国際課の方に手伝ってもらえる。僕の場合、早めに申し込みしたのにサイトがしっかり働いてなくて申し込みできてなかったり、間違いなく全部提出しなきゃいけない書類出したのに足りないと言われ、そんなはずない、確認してくれって言うめちゃくちゃあって。そしたら特に謝ることもなく急に Ok, Bye! って。ほんとうこういういい加減なところ腹が立つ。



入り口が通りに同化しすぎてて、どこから入るのか最初分からなかった。

- 食あたり

オーダーで頼んだチキンか何かが絶対にあたった。下痢しか出なくて本当に苦しかった。しかも腹立ったのは、たいして美味しくもなかったのに食あたりにまでなったということ。普段からご飯に苦勞してる分、本当にプツンときた感じでした。日本で洋食食べたとしても凄く美味しいし、日本は料理が美味しい国だなと再認識しました。

- イースターブレイク旅行

お腹を壊してる中、予約したものはもったいないのでブルガリアとギリシャに行きました。ブルガリアはまあまあ、ギリシャは良かったと思います。興味あったら言ってください。

- まとめ！

まず実感したのは、体調が悪くないと精神の健康も維持できないということ。でも防げるものと防げないものがあると思う。防げないものにあつた時はもうしょうがないかも。参考にならないけど。あと、嫌なことって一つ起こったら立て続けに襲ってくる感じがする。実は食あたり以外にも色々重なった結果、日本大好き人間になってしまった気がする。皆しばらくしたら慣れるよっていうから、皆も多分具体的に何があって回復したとか無いんだろうなと思った。でもしんどい時は、やっぱり他の留学してる友達とかと電話するのが一番いいかもと思いました。